南あわじ市社会福祉協議会学のサイフセンターだより

2023年9月 No. 178号

結成 40 周年 ~ ふれあいの心、大切に!~

ボランティアグループ「西淡コミュニケーション・ミュージック・クラブ(西淡 CMC)」

昭和 58 年に"歌好き・話し好き"の有志が集まり活動を始めた「西淡 CMC」が結成 40 周年を迎えます。元々は、カラオケを楽しもうと有志で集まったグループですが、「それだけではもったいない」「地域福祉に少しでも貢献できたら」との声から、目の不自由な方などを対象に、市の広報誌の朗読や高齢者施設への訪問を続けています。

コロナ禍以前は、高齢者施設で得意のカラオケを活かし、入居者と交流を深めていました。施設訪問はこれまでに375回を数え、読みづらい方にお届けする声の広報は9月号で465号となります。

長年、地域で活動を続けているグループのみなさんが、節目の年に音楽イベントを企画しているとの情報を受け、取材をしてきました。

どんなところにやりがいを感じますか?

施設訪問では歌好きな方が多く、リクエストがあったり、懐かしの歌を一緒に口ずさんだり。住んでいた地区の話をすると、みんな笑顔で話が弾みます。そんな何気ない会話をできることがやりがいにつながり、入所者とのふれあいを深めています。

40年も続けてこられた秘訣は何ですか?

活動を始めた頃は30代~40代が中心で、みんなまだ現役でした。広報の朗読のため、仕事が終わってから家に寄り合い、収録をしていました。昔からの同級生や職場仲間もおり、思っている事は遠慮なく言い合える仲。家族等の理解、協力、支え合いの力も大きかったと思います。

「なったいか」 カラオケが得意な人、

「団結力」。会員それぞれの役割があって、朗読が得意な人、カラオケが得意な人、 なんでも頼れるお世話役など様々ですが、自分の得意を活かしたグループです。

今後の活動について…

9月24日、湊公民館にて13時から音楽イベントを予定しています。 これまでの活動を振り返る場、そしてこれまでの支援に感謝する場として にぎやかな行事にしたいです。

私たちと一緒に活動する 仲間を募集しています。 ≪特別ゲスト≫ 野々村あい 大空美樹

一声の広報」



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064 TEL: 44 - 3007 FAX: 44 - 3037

MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp



生活支援コーディネーターだより



2023.9



地域のつながり・異文化交流



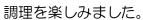
。 ~本場韓国料理「プチムゲ」を召し上がれ!!~

韓国料理の「チヂミ」をみなさんは召し上がったことはありますか?お好み焼きを少し薄くしたような形で、フライパンやホットプレートで簡単に作ることが出来る韓国料理です。チヂミは韓国では『プチムゲ』と呼ばれるそうです。韓国の一部の地域で使用されていた『チヂミ』という言葉が、日本では言いやすかったので、『チヂミ』という呼び方が浸透したそうです。野菜(ニラ、ニンジン)、イカ、エビ、貝類(豚肉も可)を、卵と水で溶いたチヂミ粉の中に入れ、フライパンで薄く焼く料理です。日本のお好み焼きとの違いは、生地を薄くして上から押さえてぺったんこにすることです。



7月30日中央公民館において、市地区公民館サマーキッズチャレンジ講座「韓国料理教室 味の旅講座」が開催されました。講師は、日本に来て25年になる韓国出身の原口さんです。「今までお世話になった地域へのお礼と、異文化交流を通して子どもたちに韓国の事を知ってほしい」との願いを受け、公民館講座として実施に至りました。当日は12名の小学生と6名の保護者の方が参加して、本場のチヂミづくりを体験しました。地域の管理栄養士坂井さんの協力を得て、食

材を切り、計量カップで量った水で粉をとき、計量スプーンで調味料を計り、グループで協力しながら







できあがったチヂミは手作りのたれにつけていただきました。「どう?おいしい?」ひとり一人にやさしく問いかけ、各テーブルを回り、子どもたちのおいしそうに食べる様子を見て、講師の原口さんは満面の笑顔でした。「初めて食べたけどおいしかった!」「一枚はお母さんのお昼ご飯に持って帰る♡」と子どもたちにも参加した保護者にも本場韓国『プチムゲ』は大好評でした。ぜひ、ご家庭でも作ってみてくださいね。









